

あきる野 ウオッチング!

あんなとこ、こんなとこ

あきる野市内紹介
シリーズ

館谷台 (たてやだい)

館谷台は、大字館谷の一部、入野の一部及び三内の一部地域が区画整理事業の終了に伴い、館谷台と改称された区域です。

この区域内の武蔵五日市駅周辺は、当時、駅前広場が狭いなど、市（当時は五日市町）の拠点としての機能が十分に発揮されていない状況でありました。このため平成4年から12年にかけて、土地区画整理事業の施行により、駅舎や駅前広場を始めとする公共施設を整備し、土地の利用増進を図ると共に、豊かな自然を求めて訪れる人々の玄関口としてふさわしい市街地として整備を行い、現在に至っています。

館谷 (たてや)

館谷は、近接する横沢とともに、カミ・シモ・ウエ・シタなどと同様、相対的な観点から呼びならした地名ではないかといった説があります。

岩走神社の下で秋川にそそぐ沢は、北から南へ流れており、これを「ヨコ」とみれば、その上流で秋川に注ぐ三内川の谷は、ほぼ東西なので「タテ」とみられる。こうした地形から「タテヤ」の呼名が起り、館谷の字を当てたというものです。また、館谷には戦国時代の頃、木住野十郎兵衛という土豪があり、この十郎兵衛の居館にちなんで「館谷」の地名が生まれたなどの記述が「五日市町の古道と地名」にあります。

正光寺 (しょうこうじ 館谷84番地)

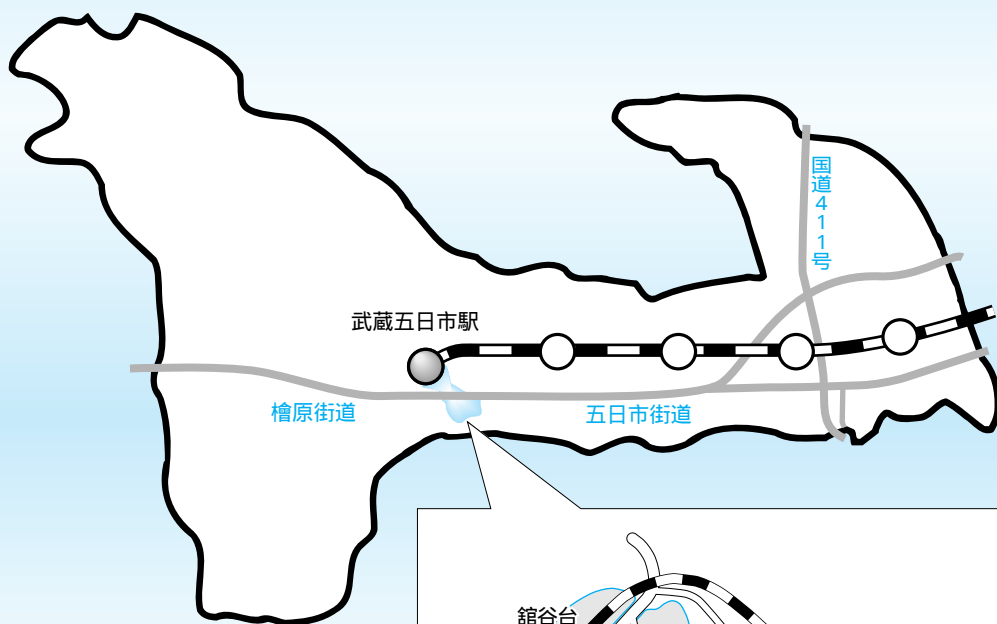


市内唯一の宗派、時宗に属する。嘉元3年（1305年）二祖他阿真教上人が開創したと伝えられています。金玉山と号し、八王子市川口町法蓮寺末でありましたが、現在は、神奈川県藤沢市の総本山 清浄光寺（遊行寺）に属します。また、本尊として阿弥陀三尊像を祀っています。

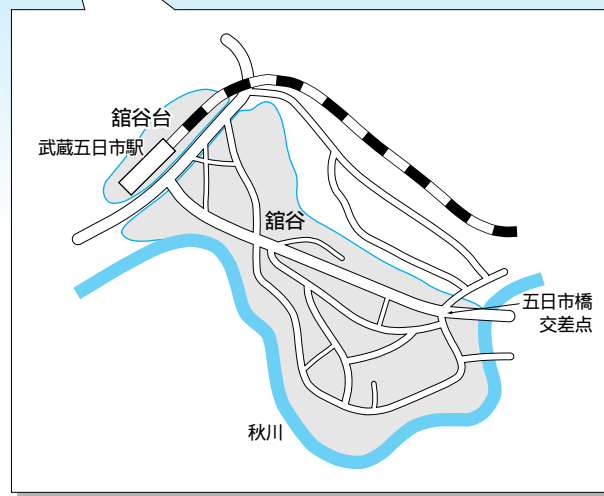


寛文2年（1662年）の検地帳に「御除地畑五畝六歩八幡免正光寺持」とあるのみで、創立起源及び由来は明らかではありません。明治六年に村社へ列格し、明治42年には、幣帛供進神社に指定されています。また、祭神は応神天皇となっています。

八幡神社 (はちまんじんじや 館谷159番地)



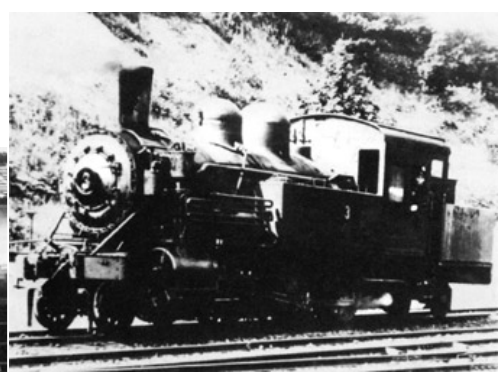
参考文献
 五日市町史
 五日市町の古道と地名
 武蔵五日市駅土地区画整理事業竣工記念誌



現在の武蔵五日市駅



昭和36年当時の武蔵五日市駅



五日市鉄道3号機関車（昭和11年頃）

ＪＲ五日市線（いつかいちせん）

ＪＲ五日市線の前達は、大正14年4月21日に開通した「五日市鉄道」でした。当時の五日市鉄道は、武蔵五日市駅と拝島駅間をドイツ製の機関車が、客車と貨車を連結させ、1日6往復していたそうです。この機関車は、秋留台地の桑畑の中を、高い汽笛をあげて走り抜けていたそうです。当時、都心に行くには、鉄道の開通前は、八王子まで徒歩か人力車・馬車で行き、甲武鉄道（現在の中央線）を利用する方法か、福生まで徒歩か人力車で行き、青梅鉄道（現在の青梅線）に乗る方法の二つしかなかったそうです。

また、五日市鉄道は、昭和5年に青梅鉄道とは別のルートで立川まで延長されています。その後、19年に日本国有鉄道へ移管され、62年には東日本旅客鉄道（ＪＲ東日本）が鉄道事業を引き継ぎ、現在も秋川流域と都心を結ぶ重要な役割を担っています。

秋の風物詩 リンゴ(林檎)



今回の風物詩は、リンゴです。

子どもの頃、風邪をひいたときに、母親がリンゴをすりおろして食べさせてくれたことが思い出されます。諺に、「一日1個のリンゴは、医者を選ばせる。」とあるようにリンゴは栄養価が高く、ビタミンC、ミネラル、カリウム等が豊富で、疲労回復や食欲増進、整腸作用など様々な効用があるといわれています。また、リンゴにまつわる話も多くあります。ニュートンが木から落ちるリンゴを見て万有引力の法則を発見したり、白雪姫などの物語にも登場してきます。

リンゴは、明治時代の初めにアメリカやフランスから導入され、北海道や青森県などで栽培されるようになりました。

このリンゴは、あきる野市内でも数軒が栽培に取り組んでいます。リンゴは、落葉の高木で3月の末頃に淡いピンク色のつぼみをつけ、4月から5月頃に白い5弁の花を咲かせます。夏が過ぎ、実りの秋を向かえ、9月から11月にかけて収穫が行われます。また、収穫に至るまでには、冬は、余分な枝を切り落とす剪定を行い、春は、必要な花だけに栄養が集まるように余分な花を摘み、夏は、灌水(人工的に降水を行う。)を施し土壌中の水分管理を行い、秋は、樹上の実が綺麗で均一な色となるよう日光の妨げとなる葉を摘み取ったり、実を回して向きを変えるなど、四季折々の作業を行うため、大変手間ひまがかかるそうです。

リンゴの収穫が終わる頃には、季節は冬に向かいます。皆様には、十分な栄養補給と休養をとり、元気にお過ごしください。



答えの中から正しいものを選び、ハガキに書いてお送りください。

問1 議場本会議のテレビ放映は、今年の何月定例会から開始したでしょうか。

- 3月
- 6月
- 9月

問2 今回の第45号議会だより「あきる野ウオッチング」で掲載した駅名はどこだったでしょうか。

- 武蔵引田
- 武蔵増戸
- 武蔵五日市

〔応募方法〕

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢と議会だよりに対するご意見・ご感想などを書き添えてください。正解者の中から抽選で10名の方に記念品をプレゼントします。

あて先 〒197-0814 あきる野市二宮350番地
あきる野市議会事務局

締切り 11月15日(当日消印有効)

前号の正解は、問1「20名」・問2「瀬戸岡」でした。

応募総数は52名で、正解者の中から抽選で10名の方に記念品をお贈りしました。

なお、当選者の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。ご応募ありがとうございました。

編集後記

残暑の続く頃始まった9月定例会でしたが、最終日を迎える頃には、すっかり秋めいていました。

9月定例会では、平成17年度決算の認定について審査をする決算特別委員会が開催されました。

9月定例会より、市役所1階で、議会本会議のテレビ放映を開始しました。多くの市民の皆様は議会の様子をご覧いただくことで、市政が一層身近になることと思います。

継続して掲載していますあきる野ウオッチングと風物詩は、大変好評をいただいています。

今後とも市民の皆様にご覧される紙面づくりに編集委員一同、一層の努力をさせていただきます。

南雲